

## 産学官連携ワークショップ：医薬イノベーションにおけるインセンティブと知識

日時：2013年9月26日（木） 13時から18時 ※同時通訳がつきます。

場所：一橋大学千代田キャンパス（学術総合センター内、〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋  
2-1-2）商学研究科リエゾン・ラボ（1階）

主催：一橋大学 イノベーション研究センター

共催：日本製薬工業協会、バイオインダストリー協会

後援：科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）

### ワークショップの目的

一橋大学イノベーション研究センターは、科学技術振興機構の「科学技術イノベーション政策のための科学」のプログラムから支援を受けて『イノベーションの科学的源泉とその経済効果』の研究プロジェクトを進めております。本ワークショップでは、新薬の市場導入に焦点を当てて、研究の中間成果を発表するとともに、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）のマーク・シャンカーマン教授を招いて、新薬が世界的に導入されていく上での特許制度、価格規制等の影響について、基調講演をお願いし、今後の医薬イノベーションの政策課題を検討します。

(1) 13時～14時 「革新的医薬の上市と特許保護の役割：11の革新的医薬のケースから」

（発表：25分、コメント：10-15分）

司会者	長岡 貞男（一橋大学教授）
発表者	河部 秀男（バイオインダストリー協会・部長）
討論者	浅見 節子（東京理科大学教授）

(2) 14時～15時半 **基調講演**（発表：65分、コメント：10-15分）

“Global Diffusion of New Drugs: Patent Policy, Price Controls  
and Institutions,”

司会者	飯塚 敏晃（東京大学大学院教授）
講演者	マーク・シャンカーマン教授 （ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、CEPR）
討論者	中村 洋（慶應義塾大学大学院教授）

15時半 休憩

(3) 15時50分～16時40分 「革新的医薬の上市、臨床試験インフラと規制：11の革新的  
医薬のケースから」（発表：25分、コメント：10-15分）

司会者 長岡 貞男（一橋大学教授）  
発表者 源田 浩一（日本製薬工業協会医薬産業政策研究所・主任研究員）  
討論者 河野 典厚（厚生労働省医政局研究開発振興課・治験推進室長）

(4) 16時40分～17時半 「日本市場での上市医薬品の科学的源泉とその市場パフォー  
マンス」（発表：25分、コメント：10-15分）

司会者 本庄 裕司（中央大学教授）  
発表者 長岡 貞男（一橋大学教授）  
西村 淳一（学習院大学准教授）  
討論者 飯塚 敏晃（東京大学大学院教授）

17時半 全体コメントと討論

司会者 本庄 裕司（中央大学教授）  
大杉 義征（一橋大学特任教授）  
マーク・シャンカーマン教授（ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、CEPR）

18時 閉会